

平成24年11月15日
於
府中市立教育センター

平成24年第11回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成24年第11回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成24年11月15日(木)
午後1時31分
閉 会 平成24年11月15日(木)
午後2時12分
- 2 会議録署名員
委 員 村 越 ひろみ
委 員 松 本 良 幸
- 3 出席委員
委員長 崎 山 弘 委員長職務代理者 齋 藤 裕 吉
委 員 村 越 ひろみ 委 員 松 本 良 幸
教育長 浅 沼 昭 夫
- 4 欠席委員
な し
- 5 出席説明員
教育部長 吉 野 寿 一 文化スポーツ部長 後 藤 廣 史
教育部副参事兼指導室長 文化スポーツ部次長兼生涯学習スポーツ課長
小 椋 孝 町 田 昌 敬
総務課長 澁 谷 智 文化振興課長 酒 井 利 彦
総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹 ふるさと文化財課長 江 口 桂
月 岡 敏 浩
学務保健課長 中 村 孝 一 図書館長 佐々木 政 彦
学務保健課長補佐 市 川 直 次 美術館副館長 山 村 仁 志
給食担当副主幹 須 恵 正 之
指導室長補佐 桑 田 浩
統括指導主事 瀧 島 和 則
指導主事 国 富 尊
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 熊 坂 奈 美
総務課主任 山 本 正 芳

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 報告・連絡

- (1) 寄付に対する感謝状の贈呈について
- (2) 第17回府中市小・中学生の人権作文発表会について
- (3) 「放鷹術実演会」の実施について

第4 その他

第5 教育委員報告

午後1時31分開会

○委員長(崎山 弘君) ただいまより、平成24年第11回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長(崎山 弘君) 本日の会議録署名員は、村越委員と松本委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○委員長(崎山 弘君) 会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

○委員長(崎山 弘君) 本日、傍聴希望の方がいらっしゃいます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

では、よろしくをお願いいたします。

_____ ◇ _____

◎寄付に対する感謝状の贈呈について

○委員長(崎山 弘君) 本日は議案の審議はございません。報告・連絡から始めさせていただきます。

報告・連絡(1)について、総務課、お願いいたします。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹(月岡敏浩君) それでは、資料1の「寄付に対する感謝状の贈呈について」をご報告します。今回は1件でございます。

寄付の採納先は府中市立浅間中学校で、学校教育活動の一層の充実、発展を図っていくために寄付されたものでございます。寄付品は体育館折畳椅子30脚、36万3,457円。体育館舞台幕4枚、57万7,000円、クリアファイル650枚、7万8,000円、フリクションペン450本、7万4,250円、合計金額は109万2,707円で、寄付者は創立30周年記念事業実行委員会委員長、池田謙治様でございます。また、体育館紅白幕14枚、18万5,220円、記念石碑一式、31万5,000円、合計金額は50万220円で、寄付者は府中市立浅間中学校同窓会、中村浩士様でございます。受領日はいずれも平成24年10月26日でございます。

府中市教育委員会表彰規程第10条の規定によりまして、委員会が適当と認めたときは感謝状を贈呈できることとなっておりますので、実行委員会と同窓会のそれぞれに感謝状を贈呈したいと考えております。なお、今年度周年記念事業を実施いたしました若松小学校と府中第五中学校に対します寄付金もございますが、現在手続中でございます。来月以降ご報告したいと考えております。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) 総務課より報告がございました。何か今の報告につきましてご質問・ご意見ございますでしょうか。

○委員(松本良幸君) 今、お話いただきました学校に対する寄付や協力に対しまして感謝の意をあらわすことはとても大事なことだと思いますけれども、今、他の2校についても検討中ということでしたが、その他周年にかかわらずですけれども、教育委員会からの感謝状贈呈に関して明確な基準等があるようでしたらお教えいただきたいと思うのですが、よろしくお願

いします。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹（月岡敏浩君） 府中市の教育委員会につきましては、府中市教育委員会の表彰規程がございます。こちらのところに目的及び種類、どういった方を表彰するか、あと職員表彰、児童・生徒表彰、個人・団体の表彰などの規定がございまして、その中の1つに第10条で、委員会が適当と認めたときは感謝状を贈呈することができます。となっております。

今回の感謝状の贈呈につきましては、市長の規定で10万円以上につきましては、公益に対する寄付について感謝状を贈呈してございますので、教育委員会につきましても、これまで10万円以上につきましてはご報告をさせていただいているところになってございます。

以上でございます。

○委員（松本良幸君） ありがとうございます。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

特にございませんか。

では、報告・連絡（1）について了承いたします。



◎第17回府中市小・中学生の人権作文発表会について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡（2）について、指導室、お願いいたします。

○指導室長補佐（桑田 浩君） それでは、第17回府中市小・中学生の人権作文発表会につきましてご説明いたします。資料2をごらんください。

今年度の人権作文発表会は平成24年12月9日（日）、午後1時30分から開催します。会場は府中の森芸術劇場ふるさとホールでございます。

今年度の作品の応募状況でございますが、小学校は武蔵野学園を含めて全23校から7,065作品、中学校は明星中学校を含めて全12校から3,150作品、合計で1万215作品の応募がございました。現在、応募作品の中から小・中学校それぞれ12作品ずつ、合計24作品を人権擁護委員が選定し、当日の発表に向けた準備を進めております。また、今回のアトラクションは新町小学校の合唱団が歌声を披露いたします。

この発表会では、毎年児童・生徒のすばらしい作品が発表されます。教育委員の皆さんにもぜひ足を運んでいただき、発表をお聞きいただければと存じます。よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） 指導室より報告がございました。何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、報告・連絡（2）について了承いたします。



◎「放鷹術実演会」の実施について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡（3）について、ふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長（江口 桂君） それでは、ふるさと文化財課から（3）「放鷹術実演会」の実施につきまして、お手元の資料3、パンフレットに基づきご報告いたします。

10月より実施してまいりました武蔵府中ふるさと祭り2012の最後の事業となります放鷹術実演会を実施いたします。JR府中本町駅前の国史跡武蔵国府跡御殿地地区は、御殿の地名のとおり徳川家康が鷹狩りの際に宿泊逗留した府中御殿が置かれたところで、1590年、豊臣秀吉が奥州征伐をした際の帰路、家康が府中で秀吉を迎えるためにつくられたと言われておりまして、家康、秀忠、家光の3代にわたって使われ、1646年、正保年間の府中大火で焼失し、その後は再建されなかったことがわかっています。

徳川將軍家の御殿は、東海地方から関東地方にかけて100カ所ほど置かれたとされていますが、実際に発掘調査で御殿の遺跡が明らかになっているのは、千葉市にありますお茶屋御殿とここ、武蔵府中の府中御殿のみでございます。その意味でも大変貴重な史跡と言えます。この歴史由緒ある御殿地の活用を目的として、昨年からふるさとまつりの一環として、放鷹術実演会、徳川家康の鷹狩り再現会を開会し、今年2回目となります。

今年は徳川家康に高野市長、豊臣秀吉に村木議長にお願いいたしまして、それぞれ鷹狩りの実演を行います。また、今年も事前に募集をしました17名の市民の方に、実際に子どもたちも含めてでございますが、鷹匠体験をしていただきます。さらに、徳川家康武将隊と豊臣秀吉武将隊が府中駅前のけやき並木通りからパレードを行い、鷹狩りの会場入りをいたします。

日時は11月25日(日)、パレードは午後零時55分、ケヤキ並木通りを出陣します。放鷹術実演会は午後1時30分から午後3時まで、会場はJR府中本町駅前の国史跡武蔵国府跡御殿地地区です。

また、本事業では2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京開催に向けての招致活動PRと来年のスポーツ祭東京2013の開催機運を高めるため、のぼり旗の掲出やエコバックの配付等もあわせて行います。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) 報告がございました。何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員(村越ひろみ君) 今年2回目ということなのですが、前回どれぐらい見に来てくださる方がいらっしゃったのでしょうか。

○ふるさと文化財課長(江口 桂君) 約1,000人の方々にご来場いただきました。

○委員長(崎山 弘君) 小雨は決行となっていますけれども、いつの段階で、どういう形で発表されるのでしょうか、今日は中止ですというようなものは、1,000人規模の方がもしお見えになつたりすると、中止とした場合のときに発表の仕方とか掲示の仕方はかなり大変かなと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○ふるさと文化財課長(江口 桂君) 小雨決行でできるだけ、例えばこの時期ですと台風は来ませんが、大雨でよほどの荒天でない限りは実施いたします。荒天で中止の場合には、8時の段階で中止を決定いたしまして、会場周辺の掲示等で一応PRをさせていただき、また電話対応のほうで対応させていただきたいと考えております。

以上です。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご意見、ご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、報告・連絡(3)について了承いたします。



◎その他

○委員長(崎山 弘君) その他ですが、何かございますでしょうか。

○図書館長(佐々木政彦君) 図書館から2件報告がございます。資料はございません。

1件目は、『広報ふちゅう11月1日号』や一部新聞でも報道されましたが、中央図書館は先月19日に来館者数500万人に到達いたしました。平成19年12月1日にルミエール府中に新たにオープンして4年10カ月と19日での500万人達成となりました。当日は、高野市長から500万人目の方及びその前後の方に記念品等を贈呈いたしました。図書館では500万人達成を『広報ふちゅう』や『図書館だより』、ホームページなどでPRし、より一層図書館利用の拡大を図ってまいりたいと考えております。

もう1件は、「市立図書館全館臨時休館について」でございます。既に教育委員会へはご報告申し上げているところでございますが、図書館システムの更新に伴い、11月19日(月)から30日(金)までの12日間、全館休館となりますので、あらためてお知らせ申し上げます。この間、図書館ホームページも休止となります。利用者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、システム更新によりホームページにマイブックリスト機能など新たなサービスの導入をはじめ、利便性の向上が図られる予定でございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) ただいま図書館から2件報告がございました。何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。



◎教育委員報告

○委員長(崎山 弘君) では、続きまして教育委員の報告に移ります。

○委員(齋藤裕吉君) それでは、齋藤のほうから報告をいたします。

前回以降、10月23日(火)ですけれども、府中第六小学校の研究発表会に参加をさせていただきました。あいにくの雨天ではありましたが、体育の授業公開、具合が悪い条件だったのですけれども、五中の武道場を使用させていただくというような形で、大変準備の行き届いた発表だったと思います。発表の中身もキャッチフレーズどおりに、「わくわくみんなでやった」という活動で、研究成果がよくあらわれていたと思います。

10月26日(金)は若松小学校の創立40周年記念式典に出席をいたしました。厳粛な雰囲気の中で大変立派な式典で、子どもたちの態度が大変立派だったと思います。

10月30日(火)、府中第八小学校の研究発表会に出席いたしました。進んで運動する児童を育てる指導の工夫ということで、ここも体育関係の発表でありました。「体力向上」が現在の府中の小・中学校での課題の1つになっているところがございますけれども、府中第六小学校に続いて2校目の体育関係の発表ということでありました。芝生の上での鉄棒運動というのは印象に残っております。

11月1日(木)、教育委員会訪問でふるさと府中歴史館、それから私は矢崎小学校まで参加をさせていただきました。ふるさと府中歴史館は、昨年度でしたか、開設になった施設であるわけですけれども、府中の長い歴史を知るという上で非常に貴重な資料の展示がなされていて、大変すばらしい歴史館になっているなと感じました。矢崎小学校では佐久間校長先生の経営方針のもと、水と緑と文化あふれる地域に根差した学校づくりということで、着実に進められて

いる様子を見せていただくことができました。

11月2日(金)、浅間中学校創立30周年記念式典に出席をいたしました。やはり厳粛な雰囲気の中で、創立30周年を祝う大変立派な式典だったと思います。お話の中で、校歌の作曲者の先生のお話、それからその先生の指揮による校歌の斉唱というところも大変よかったです。

それから11月3日(土)、府中の教育を語る会。先ほども申しあげました府中の小・中学校の課題の1つになっております「体力向上」に直結するテーマを掲げてのパネルディスカッションと講演、非常に心に響く話で大変よかったです。

11月9日(金)、五中創立50周年記念式典に出席をいたしました。創立以来、自己発見という理念をめぐっての五中の歴史を振り返りながらの校長の式辞には大変心を打たれました。生徒たちの態度も大変立派でした。

11月10日(土)、校長会・副校長会、P連、市教委の三者対抗ソフトボール大会。私は大会のほうには出席しませんで、その後の懇親会のほうに出席をいたしました。三者が連携して生まれるパワーの大きさというものを感じるような会でありました。

この間にはいろいろな会、催しに参加させていただきました。

以上です。

○委員(松本良幸君) それでは松本より報告させていただきます。

今月は多くの事業に参加させていただきましたので、事業名を報告した後、幾つかを抜粋して感想等を述べさせていただきます。

まず10月23日、府中第六小学校、研究発表。

10月25日、都立武蔵台学園、市町村教育委員会連合会ブロック別研修会。

10月26日、若松小学校、創立40周年記念式典。

10月27日、府中第三小学校、秋季運動会。同日、府中第十中学校、防災スクール。

10月30日、府中第八小学校、研究発表。

11月1日、ふるさと府中歴史館、矢崎小学校、矢崎幼稚園、教育委員会訪問。

11月2日、浅間中学校、創立40周年記念式典。

11月3日、生涯学習センター、府中の教育を語る会。

11月4日、総合体育館、府中市民体育大会閉会式。

11月9日、府中第五中学校、創立50周年記念式典。

11月10日、府中第三小学校、三者対抗ソフトボール大会。

内容ですけれども、まずは研究発表ですけれども、今月は府中第六小学校、府中第八小学校で見学をさせていただきました。今回は両校とも保健体育の指導についての発表でしたが、系統立てられ考えられた指導に関心いたしました。また、教育とは別の視点から見ると、学校が1つの組織としてまとまるための課題として研究発表自体が機能し、その成果があらわれていたように思いました。これからも校長先生を中心として組織的な連携がとれることを期待いたします。

次に府中第三小学校の運動会ですけれども、校舎の耐震工事があった関係で、通常より遅い10月の最終土曜日の開催となっていましたが、運動にちょうどよい気温の中、児童たちの元気いっぱいの競技、演技を見ることができました。また、校長先生にお聞きしたところ、練習

の開始時期を後ろにずらすことができ、結果として熱中症対策になったとのことでした。

同日は府中第十中学校の防災スクールも見学させていただきました。ここでは生徒が自分の身を守る訓練に加え、生徒が救助する側になることを想定した訓練も行われており、3. 1 1に経験した大人が帰宅困難になった事態を想定し、地域に残った生徒たちによる初期救助を安全に行うための備えも重要であると感じました。

そして、委員として初めての教育委員会訪問では、ふるさと府中歴史館へ、旧郷土館時代から30年ぶりに入館させていただきました。担当職員の方々に丁寧な説明をしていただき、館内の充実した内容に改めて驚かされました。ぜひこの施設を有効に活用して、ふるさとの歴史に興味を持ち、ひいては府中を発展させられる子どもたちを育ててほしいと思いました。

また、同日訪問した矢崎小学校、矢崎幼稚園では、特に地域との交流や協力が秀でており、地域に根差した学校、幼稚園になっているなど感じました。

終わりに周年記念式典ですけれども、各学校ともしっかりと準備をされて、学校の特色を生かしたすばらしい式典を開催してくださったと思います。また、生徒・児童たちの態度も立派で、参列してはさすがさを感じました。開催に当たっては、教職員はもとよりPTA並びに地域関係者の皆様に大きな協力をいただいたことを、教育委員として深く感謝したいと思います。

以上で、報告を終わります。

○委員（村越ひろみ君） では、村越から報告させていただきます。

同じくたくさん参加させていただいたので、少々長くなると思いますが、よろしく願いいたします。

まず、10月19日、府中第五中学校合唱祭、芸術劇場にて行われたところを見させていただきました。朝から伺い、1年生から3年生までの合唱を聞かせていただきました。1年生はなかなか声が出ないことが多いかなと思っていたのですが、大変声もしっかり出ていて歌っていました。銀賞が2クラスということで、1年生としてもレベルの高さがあったのではないかなと思いました。2年生は女子が少なく、女子の声が男子の声に消されてしまうクラスもあり、賞のとれたクラスは男子との声のバランスのよいクラスだったのかなと思っております。3年生はどのクラスも最後の学年ということで力の入れようがとてもすごくて、どのクラスが賞をとってもおかしくないほどすばらしかったです。また、生徒たちの鑑賞態度もよく、50周年記念の合唱祭ということで、金賞を受賞した3年生の生徒の中で、記念すべき年に金賞がもらえてよかったという声を聞けて、何かほのぼのしました。また、コンクールとは別に3年生有志による合唱や、先生方の合唱もあって大変楽しめました。講評された先生のお話では、朝練をやったり、学年の交流合唱として上級生が下級生のお手本になって、下級生のよい刺激になったとおっしゃられていました。また、講評者に合唱ではとても優秀な四中の丹代校長先生を迎えられていまして、的確なアドバイスをいただけたことは、生徒たちにとってもとてもプラスになったと思います。

10月21日、スポーツ祭東京2013リハーサル大会、卓球大会の観戦に伺いました。男女の決勝戦を拝見したのですが、日本のトップレベルの選手が繰り広げる試合を、本当に見入ってしまいました。ベスト4には青森山田高校が男女とも入賞という高校生の頑張る姿にも感動しました。この大会を開催するに当たっては、準備された皆さん、3日間の当日ボランティア

アでお手伝いされていた皆さんのお力で盛大に開催されて、成功に至ったと思っております。来年本番は5日間の開催と聞いております。運営にはご尽力されることと思いますが、個人、ダブルス、団体とそれぞれのトップレベルの試合を観戦できると思うと楽しみです。

10月23日、六小研究発表会でした。当日は雨天ということで授業内容を変更せざるを得なくなり、五中のアリーナ、武道場も使用しての開催でした。五中に行って授業を受けられた子どもたちは、目新しく感じてとてもうれしかったのではないかなと思いました。六小の先生方の若さあふれるパワーを感じました。今後の指導がもっと充実し、子どもたちが伸び伸びやったという瞬間が増えていくことを期待したいと思います。また講演された白旗先生のお話がわかりやすく、楽しくをモットーに学年の段階を追いつつ、上手な発問、助言が大切なこと、また体育の授業が全ての授業に比例するのだということをおっしゃっていたので、痛感いたしました。

10月25日、市町村教育委員会連合会第2ブロック研修会、武蔵台学園に伺わせていただきました。施設の見学と奥井校長先生の講演会がありました。ここは知・病併置の特別支援学校ということで、また生徒の増加への対応、自立と社会参加を受け入れた教育への推進、個に応じた指導に重点を置いているということ伺いました。また、地域との交流もあり、大学生の受け入れも多いと聞きました。とにかく何よりも先生方の取り組む姿勢に頭が下がり、先生方の仕事の大変さを感じました。

10月30日、八小の研究発表会に伺いました。進んで運動する児童を育てる指導の工夫についての研究発表ということでした。何よりの課題は児童の体力の低下と、運動する子としない子の二極化が挙げられるということで、それには運動を好きになるということで、日常的に行うようになることが大切で、日々の体育学習の指導の工夫が必要であるということでした。そのための授業展開を本当にされていたと思いました。講演会では、小学校体育研究会会長の奈尾力先生が、高校の体育指導の現状を踏まえて、体育授業の改善に向けてのお話をいただきました。成果が上がるための授業、そして子どもたちができる、わかる授業の工夫が必要だということで、参加しておられた先生方にはとてもよい講演会だったのではないかなと思いました。

11月1日、教育委員会訪問、こちらも初めてのことだったのですが、ふるさと府中歴史館、府中に住んでいながらなかなか行けなくて、初めて行ったという状況もあるのですが、市内、市外からの来館者も増えているということで、また展示のマンネリ化を改善してリニューアルにも努力していることを知りました。また、毎日100年前の新聞、読売新聞でしたが、それを展示していることにとても感激しました。

また、矢崎小学校では水と緑と文化に囲まれた、本当に子どもたちにとってよい環境の中にある学校だなと感じました。教職員の先生方が積極的に地域の行事に参加していることがすばらしいと思いました。また、幼稚園から老人会まで異年齢の人たちとの交流があること、今の子どもたちにとってはとても大切な機会を提供していると思いました。また、教職員の男女比では男性が多く、とても若い先生方ということで活気を感じられた学校でした。

矢崎幼稚園にもその日、伺いました。市立の幼稚園は園長先生が小学校校長先生との兼務なので、実際は副園長先生が主になっているのかなということを感じました。田中先生に精力的に取り組んでいただいています、園児たちへのかかわりが大きな力になっていると感じました。また矢崎小学校と同様に異年齢の交流が盛んなことも聞き、この地域は学校と地域と家庭

がうまく作用しているのではないかと思いました。

11月3日、府中の教育を語る会、パラリンピックに出場された京谷先生の講演会では、本当にどんな状況になっても頑張る力があつたのはスポーツのおかげなのだろうということを痛感しました。また、交通事故によりJリーガーとしての夢が絶たれたという想像もできないくらいに思いがあつたと思うし、それを乗り越えてこられた京谷選手にとっても感銘を受けました。

また、その日の午前中でしたが、白糸台の掩体壕のほうにも見学をさせていただきました。掩体壕の中に入ると、その当時こんなだったのだというのが感じられたのですが、周りの設備が思いのほか結構整備されていたので、それがちょっと残念かなど。もう少し周りの環境を当時の状況に近い状態に残しておいてはもらえなかったのかなというのちょっと感じていました。

11月4日、市民体育大会の閉会式に参加しました。突然のご指名ということで表彰状を読むことになったのですが、文面が読みにくく、使いなれない言葉もあり、この文章はいつからこうなのだろうか、すごく読みにくいので変更できないのかなと感じてしまいました。それでも、いい体験をさせていただいたというか、勉強になりました。

11月10日、三者ソフトボール大会に参加しました。P連以来のことで久しぶりに参加させていただきました。いつもながらですが、親睦とはいえ、皆さん本当に必死の戦いぶりで、活気に満ちていて、また秋晴れのとてもよい天候の中で開催できて、三者の交流が深められたと思っています。

また、先ほどからお話ありますが、周年3校にも参加させていただき、どの学校も本当に特色ある式典でよかったと感じています。

ありがとうございました。

○委員（浅沼昭夫君） それでは浅沼が報告いたします。たくさんございますので、私は今までの報告との重複を避けて、かいつまんでご報告いたします。

10月19日、郷土の森総合体育で行われた平成24年度全日本卓球選手権大会、団体の部を観戦いたしました。先ほどご報告がありましたけれども、日本の一流選手、そして強いチームが参加しておりまして、熱戦を通して、私自身は卓球のイメージが大変大きく変わりました。

それから10月20日（土）、府中市グリーンプラザけやきホールにおいて、府中市立小・中学校PTA連合会主催の健全育成映画会に出席をいたしました。挨拶を申し上げた後に、私も映画「ライフ いのちをつなぐ物語」を鑑賞いたしました。この映画は英国BBC制作によるネイチャードキュメンタリーで、撮影日数3,000日、総製作費35億円をかけて、地球の全大陸、陸、海、空に住む、多種多様な生物が、それぞれ命をつないでいく様子を、最新のカメラで撮影したものだということです。現在、学校教育だけではなくて、私たちの社会が直面している最も重要な課題である命の尊さ、大切さを子どもたちに実感を持って訴える上で大変ふさわしい内容で、よい映画を選んでいただいたと感謝しております。

10月22日、午後、小柳幼稚園の様子を見せていただきました。状況説明を受ける際に、園庭では多くの幼児と保護者が自由に遊んでおられました。園庭を開放しながら、一方では希望する保護者との面談もできるように計画して取り組んでおられるということです。保護者は経験豊富な幼稚園の先生方と相談することで、子育ての悩みや不安を払拭できて、ともに幼児を育てていこうという力と姿勢が生まれてくると思います。幼稚園でこういう地道な努力をし

ているということを皆様にご報告いたします。

10月27日、東京都市町村社会教育委員連絡協議会第5ブロック研修会が、生涯学習センターで開催されました。開会式と歓迎のイベント、府中囃子保存会によるお囃子の披露、そして研修会の事例発表ということで、武蔵野市、調布市、小金井市の発表を伺いました。市民をつなぎ、まちをつむぐ、地域文化活動の役割と課題というテーマでしたけれども、それぞれの地域で活発な市民活動がなされているということを知ることができました。

10月28日、午後ですけれども、MOA美術館主催の第13回府中児童作品展の表彰式に参加いたしました。今回は869点の児童作品が展覧され、府中市教育委員会賞を手渡してまいりました。

10月29日、夕刻ですけれども、府中第四中学校の丹代校長先生、横田合唱部顧問の先生、それから合唱部の部長と副部長2名が、鹿児島市で開催された全日本合唱コンクール金賞受賞の報告に市長さんを表敬訪問し、同時にマスコミからの取材を受けました。翌30日、朝日新聞に大きく掲載されましたし、市の広報『けやきっ子』にも掲載されました。現在は市のホームページに載っております。

11月3日、夕刻からですけれども、武蔵国府太鼓連盟の30周年祝賀会に参加いたしました。所属3つの団体は若松小、浅間中の記念式典でも太鼓の演奏がありましたけれども、約半数の市内小・中学校の活動を支援しておられるということです。さらに増やしていきたいという思いを伺うことができました。

11月5日、17時30分からですけれども、市内中学校生活指導主任と保護司との懇談会に参加いたしました。関係の小・中学校の校長先生や市内の都立高校の校長先生方も出席されておりました。都立小児総合医療センター副院長の田中哲先生の、「中学生の問題傾向とその指導方法」というテーマでの講演があり、その後、協議が行われました。この懇談会では参加される関係団体が年々広がりまして、学校同士の合同連携が強固になってきているということです。

11月10日、府中国際友好交流会の事業報告会に参加いたしました。ウィーン、ヘルナルス区との友好都市提携後、高校生や専門学校生の派遣事業を市から引き継いで、NPO法人として実施していただいております。派遣生のホームステイの報告などがございました。

最後でございます。11月13日、午後6時30分より、第1回目の第2次府中市学校教育プラン策定検討協議会が開催され、挨拶を申し上げた後、プラン策定の依頼書を菊山直幸会長様に手渡しをいたしました。

以上であります。

○委員長（崎山 弘君） それでは崎山より報告いたします。

前回の教育委員会定例会から、既に各委員が報告したように数多くの行事があり、重複するものもございますが、私からは感想を3点申し上げます。

まず10月25日、都立武蔵台学園で開催された市町村教育委員会連合会ブロック別研修会に参加しました。この研修会は、今回は府中市教育委員会が担当ということで、事務局の熊坂さんには連絡などご苦労をおかけしました。ありがとうございました。

テーマは特別支援学級の現状と課題で、武蔵台学園の校舎並びに授業風景の見学と、学校長の奥井かおる先生からの講演という二部構成で実施されました。それぞれの市町村でも特別支

援学級が存在し、固定級や通級など1人1人の子どもたちに学校教育の場を提供し、子どもたちにかかわっておりますが、武蔵台学園のような特別支援学校は東京都の管轄になるために、市町村の教育委員はあまりかかわる機会がありません。私はたまたま都立武蔵台学園の学校運営協議会の委員を務めている関係で、生徒数が急増していること、それに対して図書室など特別教室を潰しながら学級を増やして対応している現状、子どもたちの就労に向けてという視野で教育活動をしていることなどを存じ上げていたので、ぜひこの現状を市町村の教育委員の方々に知っていただきたいと考えて企画したものでした。

天候にも恵まれ、多くの参加者を得て、奥井校長先生の講演に引き続いて行われた質疑応答も活発な議論があり、有意義な研修会だったと考えております。

11月3日、朝8時30分から陸上競技場で、府中市小学生タグラグビー大会第6回フォーリスカップの開会式並びに試合の観戦に行っていました。複数のチームが参加している学校も多く、83チームもの参加があったと伺いました。多くの校長先生、副校長先生、担任の先生方なども朝早くからお見えになって、自校のチームを追いかけながら、4面あるコートを移動して、日ごろの練習の成果を発揮している子どもたちに、保護者の方々と一緒に大声で応援をされておりました。フォーリス、東芝、サントリーなど関係者の方々の努力のおかげで、子どもたちにこのような機会が与えられることをありがたく思いました。

10月26日、若松小40周年行事、11月2日、浅間中学校40周年行事、11月9日、府中第五中学校50周年行事で、教育委員会を代表してお祝いの言葉を述べてまいりました。それぞれの学校の校風と伝統を生かした形で、式典の厳粛さと児童・生徒による記念演奏、記念合唱の華やいだ雰囲気が見事に表現されており、いずれも素晴らしい周年行事でした。関係者の皆様の努力が報われてよかったですと感じました。

以上です。

それでは、これもちまして、平成24年第11回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。お疲れさまでした。



午後2時12分閉会